

業務実績評価に関するご意見等一覧

(令和3年度業務実績評価、中期目標期間業務実績評価)

※順不同、一部要約

ご意見等

- ・コロナ患者への対応も行いながら、救急医療への対応を着実に実施し、さらに、がんゲノム医療連携病院の指定を受けるなど、高度専門医療の充実も進めたこと、そして結果として9億円余りの黒字を達成したことは大変素晴らしい。また、DPC 特定病院群の指定、自治体立優良病院表彰を受けるなど、院内各部署が一丸となって尽力していることがうかがわれ賞讃できる。(川合委員)
- ・働きやすくやりがいのある職場環境整備に取り組むことは、病院経営のベースであり、ある意味ではこの計画の中で最も重要な部分である。働く職員の満足度向上を今後も着実に推進していく必要がある。(小林委員)
- ・客観的な評価をする上で、測定しやすい「指標化」の検討を進めてほしい。(小林委員)
- ・短期借入金の借入限度額に関して、想定される発生理由の例として大規模災害が挙げられているが、災害発生時はBCPに基づく対応となるため、平時からの借入れ理由としては不適切ではないか。短期借入が法人に白紙委任の状態となっていることは、内部統制上問題であり、引き続き検討いただきたい。(小林委員)
- ・病院の管理部門としては、資金面で無駄な金利を払わないようにすることが大事。多額の定期預金がありながら、起債をして金利を払うのは無駄ではないか。定期預金の運用方法についても、引き続き検討いただきたい。(小林委員)
- ・関係者の尽力に敬意を表します。コロナ拡大で病院に足を運ぶ人が減少しているのでしょうか。かかりつけ医でも待ち時間が少なくなっていることも逆に心配になります。私たち住民は、お医者さんが頼りです。従事している皆さんに感謝の思いを皆で祈っています。(柳原委員)